

好評発売中！

既刊書のご案内

お求めは、お近くの書店またはネット書店で！

～親愛なるアゴ스티ー～

僕が思うに、

これは映画化にもってこいの実に魅力的な物語だよ by フェデリコ・フェッリーニ

裁判官 法の力と正義を固く信じて生きてきた独身の男性裁判官。50歳の誕生日を迎えた朝を境に、過去の罪の影にさいなまれはじめる。30年前の自分を追った先には…
被害者 ある日エリート官僚のオフィスへ訪ねてきた探偵。これから起こる殺人事件の被害者に事情を聞きに来たという。エリート官僚が被害者となる理由は…
殺人犯 身の回りの疎ましい人物の命を消し去ることのできる少年。証拠がなく疑われることのないまま国家権力の階段を上りつめていく…

文学 『罪のスガタ』

シルヴァーノ・アゴスティ 著 野村 雅夫 訳

2009.11.30発行 定価1,470円(本体1,400円)
ISBN978-4-903439-07-5 C0097 ¥1400E 四六判・並製本・160頁

裁判官、被害者、殺人犯・・・三つの罪の物語。
イタリアの知られざる巨匠、作家・映画監督アゴスティが描く現代版「罪と罰」。



文学 『過去之力』

サンドロ・ヴェロネージ 著
大谷 敏子 訳

死んだばかりの父の素顔を聞かされ、うろたえる男。人生とは、見かけ通りじゃないのかも知れない・・・
真実が明らかになるにつれ、自己喪失の危機が訪れる、四十代間近の現実を描く海外文学。
「パーフェクト・ワールド」、「ベニス愛」から「8 1/2」まで、全編に引用された映画のエピソードが作品に奥行きを与えている。本作も既に映画化され、日本のイタリア映画祭でも上映されるなど、映画ファンも必読!!
カンピエッロ賞（伊）、ヴィアレージオレバーチ賞（伊）受賞。



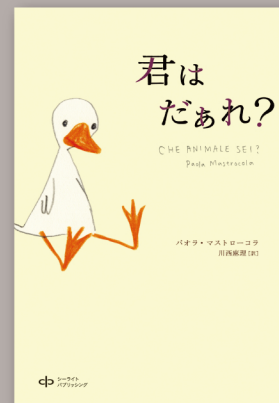
世界16言語に翻訳された話題作が、遂に、日本上陸！
過去とは？ 記憶とは？ 人を支えるものとは？

2008.07.26発行 / 定価1,890円(本体1,800円)
ISBN978-4-903439-04-4 C0097 ¥1800E 四六判・285頁

文学 『君はだあれ？』

パオラ・マストローコラ 著
川西 麻理 訳

アヒルに訪れた 人生を哲学するような難問！
次々と登場する まるで人間社会さながらのキャラクター達と一緒に 楽しく そして一生懸命に でも時には ちょっと切くなりながら こたえを見つけていく 恋と涙にも彩られた 人生を考えるアヒルの物語
「自分は誰なのか？」素朴でもあり、難題でもあるこの問いかけを、主人公のアヒルの女の子の目を通して見つめていく。ユーモラスな語り口とストーリーで、ほほ笑みと、そして思慮をプレゼントしてくれる、子供から大人までが楽しめる一冊。



自分が だれかなんて・・・ そんなこと どうしたらわかる！？
イタリアで15万部突破の話題作！

2008.08.11発行 / 定価1,680円(本体1,600円)
ISBN978-4-903439-05-1 C0097 ¥1600E 四六判・288頁

建築 『都市を癒す術』

ピエル・ルイジ・チェルヴェッラーティ 著
飯野 真由美 / R・F・ジャンコッティ 訳

私たちのいる場所は、すでに都市と呼べるものではなく、ただの「寄せ集め」となっている。土地の記憶を呼び覚まし、その姿を回復する術（すべ）を取り戻す。都市は、そのとき癒される・・・
「ミューズが微笑む都市」の著者による、都市が都市であるための方策。「バベルの塔」を乗り越えるための都市モデルと、その実現のための考え方が語られる。
近年、韓国のソウル市内を流れる「清溪川（チョンゲジョン）」上空の高速道路を撤去し、都市に空を取り戻した政策が注目されている。今求められている都市の記憶を呼び覚ます術を伝える近刊の日本語訳。

2007.11.30発行 / 定価1,890円(本体1,800円)
ISBN978-4-903439-03-7 C0052 ¥1800E 四六判・228頁



夜空と語り合う
都市への
プロローグ・・・

観光 『文化・景観・ツーリズム』

～ イタリア観光再生計画の現在 ～

ジョヴァンナ・メランドリ 著 (元イタリア文化財大臣)
八木 真紀子 訳

我々を魅了してやまない美しきイタリア。
それは古の文化を大切に継承してきた人々の芸術作品でもある。近年、発展という名の元に無駄に浪費されたり、時には傷つけられたりしているイタリアの現実に、著者が警鐘を鳴らす。

イタリア文化会館 館長 ウンベルト・ドナーティ

観光大国イタリアの現実と再生計画

2007.8.2 発行 / 定価1,890円(本体1,800円)
ISBN978-4-903439-02-0 C0065 ¥1800E 四六判・231頁



建築 『ミューズが微笑む都市』

ピエル・ルイジ・チェルヴェッラーティ 著
(元イタリア・ボローニャ 都市計画局長)
鈴木 真由美 訳

私がナポリ建築大学で学んだこと、在学中に実際の現場で体験した現実や父から学んだことは、「ギャップの大きさ」というよりも、まったく「正反対の内容」だった。
勝手な人間のエゴで無秩序な建築を行う時代は終わりにしなければならない。
ハンツェッタ・ジローラモ

こうなっては「ベニスに死す」どころか、「ベニス死す」である

2007.4.10 発行 / 定価2,310円(本体2,200円)
ISBN978-4-903439-01-3 C0052 ¥2200E 四六判・183頁



地理 『古代地中海を巡る ゲオグラフィア』

ステファノ・マニヤーニ 著
久保 耕司 訳

人間は居住可能な地域についてどのようなイメージを持っていたのか？地中海を表面的に概観するだけでなく、その奥に秘められた歴史の扉をたたき、ゲオグラフィアの変遷を過去の賢人たちの言葉を引用しながら辿る。
地中海世界に興味ある人、地理・地図・歴史に興味ある人、そして現在の都市・地域社会に関心を持つすべての人へ・・・

書評掲載：月刊『地理』2008.1月号、『地図中心』2007.3月号
2006.12.8 発行 / 定価2,310円(本体2,200円)
ISBN978-4-903439-00-6 C0020 ¥2200E 四六判・279頁 (旧：ISBN4-903439-00-3)



地中海を舞台にした
歴史地理学の
起源と発展